[第 | 号通信]

日本遊戲療法学会 第27回大会 案内

メインテーマ 「遊戯療法はなぜ効くのかーその治癒機転を探るー」 2022年7月16日(土)~7月17日(日)

会場: りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂(新潟県新潟市中央区一番堀通町3-2) 新潟大学 教育学部 (五十嵐キャンパス 新潟市西区五十嵐 2の町 8050)

~ご挨拶~

日本遊戲療法学会 第27回大会 大会長 横山 知行(新潟大学)

新春の候、みなさまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本遊戯療法学会第27回大会を2022年7月 | 6日(土)、| 7日(日)の2日間、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館および新潟大学で開催させていただくことになりました。前回、増澤菜生大会長のもと新潟市でこの大会が行われたのが2007年7月ですから、ちょうど | 15年前にあたります。

この期間、心理臨床の世界ではさまざまな出来事がありました。大きな一つのターニングポイントは、前回大会の数日後河合隼雄先生が逝去されたことでした。河合先生は、哲学者中村雄二郎氏が提唱した「臨床の知」という概念を援用しつつ、「生身の人間を相手にして、現実に生きる問題を共に考えてゆく」心理臨床の在り方を示すパラダイムとして、この重要性を説き続けておられました。その成果をさらに実りあるものにしていこうとされている最中、河合先生は旅立たれてしまいました。

それから、米国発の世界的な不況があって、東日本大震災があって、そして、2回の政権交代の後、わが国はじめての心理職の国家資格が創設されました。しかし、ともすれば、そのパラダイムは「臨床の知」ではなく、「選択と集中」や「自己責任」という時代の空気を反映したものになっていく兆しを感じます。この時代の空気はコロナ禍で、さらに濃度を増しているように思われます。そして、これは遊戯療法家にとっても決して無縁なものではないと思うのです。

こうした中で、本大会では、まず初日には、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館能楽堂にて本学会会長山中康裕先生に、特別講演「遊戯療法の過去・現在・未来」として、遊戯療法の来し方・行く末を存分にお話しいただきます。午後からの公開シンポジウムでは、「遊戯療法はなぜ効くのかーその治癒機転を探る-」というテーマのもと、議論を深めていきます。 2日目には、会場を新潟大学五十嵐キャンパスに移して、午前中には、8名の講師の先生方によるワークショップを開催し、午後は研究発表の時間にあてております。

みなさまご存じのとおり、新潟は海の幸にも山の幸にも恵まれ、そして、なによりもお米とお酒が美味しいところです。 ぜひ、皆さまに新潟にお越しいただきたいところなのですが、報道によると、新年早々の新型コロナウイルスの新株が急増 しているとのことで、対面のみの開催は難しいようです。現段階では、特別講演と公開シンポジウムは対面と ZOOM のハ イブリッドでの開催を、ワークショップも同じくハイブリッドでの開催を、また、研究発表は対面のみを予定しております が、感染拡大状況によっては、ハイブリッドはオンラインのみ、また研究発表は、昨年度同様発表者と指定討論者・司会と のやりとりをもって発表に変える可能性がある旨、予めご承知おきくださいませ。

それでは、第27回大会、多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

大会日程

第1日目(りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂)

10:00~12:00	12:00~13:30	13:45~16:45	18:00~20:00	
特別講演	昼食	公開シンポジウム(ハイブリッド方式)	懇親会	
(ハイブリッド方式)	社員総会		16.17/LZ	

第2日目(新潟大学 教育学部)

9:30~12:00	12:00~13:00	13:00~14:00	14:15~16:15	16:30~18:30
	昼食			
ワークショップ (ハイブリッド方式)	指定討論者・司会者 打ち合わせ会	会員集会	研究発表I	研究発表Ⅱ

学会員のみ	一般公開	非会員(専門職)・大学院生参加可
1 4 7 1 7	/3人口//3	7 4 (1) 1,000 /(1) 1,000 /(1)

大会内容

第1日目 2022年7月16日 (土) りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 能楽堂

テーマ 遊戯療法の過去・現在・未来

講師 山中康裕 (京都ヘルメス研究所/京都大学名誉教授/本会会長)

司 会 伊藤真理子 (新潟青陵大学)

横山知行理事長から、27th遊戯療法学会・新潟大会での、特別講演を依頼された。有難く嬉しいことである。そのタイトルも表 題の通り、理事長から戴いたものそのままである。

おそらく私の考えるに、2018年に第50th 芸術療法学会・京都大会で「芸術療法 50年来し方行く末」を話したので、その延長上に立案された演題であろう。但し、私は先日心電図上で「心房細動」と診断され、この正月早々に京大病院でオペを受けることになっているので、無事生還した暁には、という限定つきで、お引き受けしたのであった。

私は医師になって 50 年以上を閲(けみ)するが、まず、10 年経ったところで『少年期の心』を一切の箱庭・絵画・写真など視覚情報を一切用いずに、全て言語化するという方法論で上梓し、同じく、東大出版会の「分裂病(現在の統合失調症)の精神病理」で、自閉症等、3 本の治療論を書いて、おそらくそれらが認められて、河合隼雄先生に京大に引き抜かれ、京大教授となり、そこも定年退職して、傘寿を超えて現在に至っている。

時代も半世紀を経てみると隔世の感で、子どもたちの用いる言語も大幅に違ってきているし、彼らの熱狂するアニメやゲームも 大幅に変わったので、到底、過去の方法のみで太刀打ちできない状況が現出していること必定であり、それらも含めて、今後の遊 戯療法の方向性に焦点を当て、大いに語ってみたい、と考えている。

講師 /山中康裕 (やまなか・やすひろ) 氏

京都ヘルメス研究所長、京都大学名誉教授。第 19 期日本学術会議会員、国際箱庭療法学会 ISST 設立ボードメンバー、国際芸術療法学会 SIPE・AT 副会長など、国内外の学術団体で要職を務められてきた日本遊戯療法学会創設時からの会長。「少年期の心」(中公新書)、「心理臨床学のコア」(京都大学学術出版会)、「表現療法と心理臨床」(金剛出版)、「MSSM への招待」(共編、創元社)、「山中康裕の臨床作法」(日本評論社)、Kalff「カルフ箱庭療法」(誠信書房)、Samuels「ユング心理学辞典」、(創元社)をはじめ多数の著書・訳書を著されている。

昼食 (社員総会) 12:00 ~ 13:30

公開シンポジウム 13:45~ 16:45 対面と Zoom によるハイブリッド方式で行います

テーマ 遊戯療法はなぜ効くのかーその治癒機転を探る**ー**

話題提供者:**篠原道夫**(東洋英和女学院大学) **田熊友紀子**(代官山心理・分析オフィス)

田村大輔(児童養護施設 天使園) 東畑開人(十文字学園女子大学)

森岡正芳(立命館大学)

指定討論者:田中恒彦(新潟大学) 吉川眞理(学習院大学)

司 会 : 岡昌之(東京都立大学名誉教授) 横山知行(新潟大学)

私たちが、遊戯療法の意義を問われた際、「遊戯療法はただ遊んでいるだけではなく、〜をしているのです」と応じることがあります。しかし、この〜の部分について、そして〜をすることにより、なぜ、クライエントが良くなるのか、基盤を同じくしない方々に伝えるのはなかなか困難なことのように思われます。

遊戯療法は効きます、でもなぜ効くのでしょう。この素朴な問いについて、篠原道夫先生、田熊友紀子先生、田村大輔先生、東畑開人先生、森岡正芳先生の5人のシンポジストに、それぞれのお考えをお話しいただき、田中恒彦先生、吉川眞理先生より指定討論いただいた後、全体で議論を深めていきます。公開シンポジウムを通じ、参加されたみなさんが、遊戯療法にはどのような力があるのか、自分はなぜ遊戯療法を行うのか、そこで、クライエントは、自分は、何を得ているのか等々、思いを馳せていただく機会になれば幸いです。

交流の広場 (懇親会) 18:00~20:00 (予定)

*会場等の詳細は第2号通信(抄録集)にてお知らせいたします。参加費は当日お支払いください。

*感染拡大状況によっては開催方式を変更したり、中止したりする場合があります。ご了承ください。

第2日目 2022年7月17日 (日) 新潟大学 教育学部 五十嵐キャンパス

ワークショップ 9:30~12:00 対面と Zoom によるハイブリッド方式で行います

A 山中康裕 (京都ヘルメス研究所/京都大学名誉教授) ごく最近の SV 事例から:14 歳男子・不登校

B **安島智子** (このはな児童学研究所) 治療的遊戯療法の実際

C 伊藤良子 (京都大学名誉教授) 遊戯療法:無意識に開かれた場

D **弘中正美** (山王教育研究所) 枠を守ることと枠を超えること

E 森谷寛之 (京都コラージュ療法研究所/京都文教大学名誉教授) 遊戯療法におけるコラージュ療法-治癒機転を考える-

F **國吉知子** (神戸女学院大学) 「PCIT (親子相互交流療法) はなぜ効くのか ~PCIT の根幹をなす遊戯療法~」

G 森田喜治 (龍谷大学) 相互受容、相互共感の関係の中での遊戯療法

H **田熊友紀子** (代官山心理・分析オフィス) ユング派心理療法における「遊び」

昼 食(司会者・指定討論者打合せ会) | 12:00~|3:00

会員集会| 3:00~|4:00研究発表 I|4:|5~|6:|5研究発表 I|6:30~|8:30

参加資格

特別講演、公開シンポジウムは一般公開いたします。

ワークショップ、交流の広場は、非会員の方 (日本遊戯療法会学会員以外の守秘義務を有する専門職の方、臨床心理学を学ぶ大学院生)も参加可能です。第2日目午後の研究発表 I・IIと会員集会は会員のみが参加できます。

予約参加申し込み方法 大会ホームページ (URL: https://ryu-playtherapy.com) よりお申し込みください。

予約参加の申し込み締め切りは <u>2022年6月17日(金)</u> となります。6月18日(土) 以降にお申込みをされた方は 当日受付扱いとなります。また対面開催のみ当日参加を受け付けます。オンライン参加の場合には予約参加申し込み期限までにお申し込みください。

お申し込み後ご案内する振込先に予約大会参加費をお振込みください。振り込み期限は、2022年6月24日(金)です。 6月25日(土)以降については、当日参加費を、大会当日総合受付にてお支払いただきます。

参加費

	会員	会員(大学院生)	非会員(専門職)	非会員(大学院生)	一般
大会参加費	6000円 (当日7000円)	5000円 (当日 6000円)	-	_	1
ワークショップ	4000 円 (当日 5000 円)	3000円 (当日 4000円)	5000 円 (当日 6000 円)	4000 円 (当日 5000 円)	1
特別講演 公開シンポジウム	大会参加費に含みます		プログラム参加 1500 円 2 プログラム参加 2000 円		

ワークショップ参加

ワークショップの参加申し込みについては、同封のワークショップ案内をご覧ください。

研究発表申し込み

研究発表は | 発表あたり討論を含めて 2 時間で行います。発表を希望される方は以下の要領でお申込みください。

- ① 大会ホームページ (URL: https://ngt-playtherapy.com/)より 2022年4月15日 (金) までにお申し込みください。
- ・ お申し込みの際は、フォームに従い、発表演題、発表要旨、希望の座長 (コメンテーター)、機器の使用希望をご記入下さい。お申し込み後、大会ホームページより「抄録集原稿フォーマット」をダウンロードし、作成原稿を 2022年 4 月 30日 (土) までに大会事務局までメール送付して下さい。
- · 演題発表の採否、座長 (コメンテーター) は、日本遊戯療法学会第27回大会準備委員会によって決定されます。座長 (コメンテーター) については希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 発表に使用できる機器はノートパソコン (持ち込み、あるいは Windows PC 貸し出し可) からのプロジェクターによる 映写のみです。研究発表申し込みの際に機器の使用希望を入力してください。
- · 研究発表の資格として、以下の要件を満たしていることが求められます。
 - ・演者、連名演者は、日本遊戯療法学会の会員であること。
 - ・演者、連名演者は、2021年度までの年会費を完納していること。

年会費納入状況については、第一号通信の宛名ラベルの会員番号の下に記載されている()をご参照ください。

()内には、年会費(6000円)が未納入である年数が記入されています。年会費の納入は以下の口座にお願いいたします。

ゆうちょ銀行 口座名称 :一般社団法人 日本遊戯療法学会

シヤ)ニホンユウギリョウホウガッカイ

ゆうちょ銀行から振込みの場合 : 記号番号:0120-9-731434

他行などからの振込みの場合 : 店名:〇一九(ゼロイチキュウ)店 当座 口座番号:0731434

※参加費の納入口座とは異なります。ご注意下さい。

その他 注意事項

- ※ 大会開催に関する連絡、プログラム・抄録集の配布等は、2 号通信以降は、原則としてホームページおよび電子メール にて行いますのでご留意ください。
- ※ 日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイントについては「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」に基づき、以下のとおり付与されます。オンライン参加の場合のポイント付与に関しては、2022年度の日本臨床心理士資格認定協会の方針を踏まえ決定する予定ですのでご了承ください。

ワークショップ受講+大会参加 = 4ポイント

ワークショップ受講+シンポジウム参加 = 2ポイント

ワークショップおよび研究発表での発表 = 4ポイント

大会参加=2ポイント

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては開催方式を変更したり、中止したりする場合があります。あらか じめご了承ください。

- お問い合わせ・連絡先 -

日本遊戲療法学会 第27回大会準備委員会 事務局

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学教育学部 横山研究室内

 $\hbox{E-mail: playtherapy } 27 \hbox{th@gmail.com}$

URL: https://ngt-playtherapy.com/

※お問い合わせはメールまたはホームページ上のお問い合わせフォームよりお願いいたします。

